

平成29年 9月11日～ 13日

鳥羽市議会会議

一般質問通告者一覧表

発言通告者	議席番号	8 番	氏 名	戸 上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 鳥羽市の子育て支援策について</p> <p>人口減少の止まらない鳥羽市にとって「子育て支援策」は市政の大事な柱でなければならない。そこで以下の点について問う。</p> <p>①本市がこれまで実施してきた子育て支援策についての市長の基本認識について。</p> <p>②子ども医療費の窓口無料化進展状況について。</p> <p>③就学援助の入学準備金前倒し支給検討状況について。</p> <p><市長、教育長及び関係課長></p>			

発言通告者	議席番号	8 番	氏 名	戸 上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 生活困窮者に寄り添い救済する市政について</p> <p>地方自治法は住民福祉の向上が地方公共団体の基本とうたっている。生活困窮の世帯と市民を救ってこそその行政である。そこで以下の点について問う。</p> <p>①国民健康保険の都道府県化に伴う国民健康保険税増税をどう抑えるのか。</p> <p>②国民健康保険税の恒常的低所得者に対する減免制度について。</p> <p>③住宅に困窮するひとり親世帯に対する市営住宅優先入居について。</p> <p>④ひとり親家庭の児童扶養手当の毎月支給について。</p> <p>⑤国民年金で入れる高齢者施設について。</p> <p><市長及び関係課長></p>			

発言通告者	議席番号	8 番	氏 名	戸 上 健
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 都市計画税を依然として徴収し続けている問題について</p> <p>都市計画税は地方税法第702条の規定による都市計画事業及び土地区画整理事業にのみ充当する目的税である。そこで以下の点について問う。</p> <p>①都市計画税に関する市長の基本所見について。</p> <p>②都市計画税を充当する本市の都市計画事業及び土地区画整理事業について。</p> <p>③目的税としての都市計画税のあり方について。</p> <p><市長及び関係課長></p>			

発言通告者	議席番号	3 番	氏 名	河 村 孝
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ ふるさと納税の経緯とこれからについて</p> <p>次の点についてきく。</p> <p>①ふるさと納税の今までの経緯と実績について。 ②ふるさと納税の現在の状況について。 ③ふるさと納税のこれからについて。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	3 番	氏 名	河 村 孝
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 今後の鳥羽市における水産事業の展開について</p> <p>次の点についてきく。</p> <p>①鳥羽市の漁業に対する市長の思いをきく。 ②これまでの水産事業の取り組みについて。 ③これからの水産事業の取り組みについて。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	10番	氏名	坂倉広子
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 食品ロス削減について</p> <p>発展途上国などで食料不足や飢餓が深刻な問題となる一方、国内ではまだ食べられる食料が廃棄されてしまういわゆる「食品ロス」の解消が大きな課題になっている。そこで次の点についてきく。</p> <p>①食品ロス削減のための啓発、取り組みについて。 ②学校、幼稚園、保育所における啓発について。 ③市民と事業者が一体となった取り組みについて。</p> <p><市長、教育長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	10番	氏名	坂倉広子
<p>件名及び 要旨</p>	<p>○ 子育て支援について</p> <p>ICTを活用した子育てしやすい環境整備についてきく。</p> <p>①自治体における子育て応援アプリの推進について。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	1 1 番	氏 名	世 古 安 秀
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 平成32年度から実施される新学習指導要領に向けての鳥羽市教育委員会の今後の取り組みについて</p> <p>次の点についてきく。</p> <p>①この度改正される主な内容はなにか。</p> <p>②どういうスケジュールで進めていくのか。</p> <p>③鳥羽市の課題はなにか。</p> <p>④鳥羽市の特色ある教育をどう進めていくのか。</p> <p>⑤各学校で具体的な取り組みを進めるにあたり、要となるのは管理職の校長・教頭先生である。今後どの様に育成していくのか。</p> <p><市長、教育長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	5 番	氏 名	木 下 順 一
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 救急業務の現状と対策について</p> <p>平成28年中の救急出動件数は、全国で約621万件と過去最高を記録しており、鳥羽市においても1517件と全国同様に過去最高を更新している。そこで以下の点について問う。</p> <p>①本市の救急出動件数の推移をどのように分析しているか。また、対応は出来ているか。</p> <p>②重複出動件数の現状はどうか。また、その場合の体制はどうか。</p> <p>③救急出動件数を抑制する対策はどうか。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	5 番	氏 名	木 下 順 一
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ 女性消防吏員の活用について</p> <p>鳥羽市消防署では現在、女性消防吏員が1名も採用されていない。総務省消防庁から女性活躍の場として積極的に採用する旨の通知もあったと認識している。そこで以下の点について問う。</p> <p>①直近の救急搬送された男女比の割合。 ②今後の女性消防吏員活用への取組みについての考えは。 ③女性消防吏員を採用するにあたり、課題や問題はあるのか。</p> <p><市長及び担当課長></p>			

発言通告者	議席番号	5 番	氏 名	木 下 順 一
<p>件名及び 要 旨</p>	<p>○ ドローン（小型無人機）の活用について</p> <p>近年、あらゆる分野においてドローンの活用や実証実験など、災害時はもとより地方創生に繋がる取組みとして、多くの分野において活用されている。ドローン推進室を創設している自治体もある中、本市においてのドローン活用等についての考えを問う。</p> <p>①ドローンの活用等についての考え、見解をきく。 ②災害等が発生した時に消防団で活用する考えはないか。</p> <p><市長及び担当課長></p>			